

2022年度の評価と2023年度の取り組み・目標

倫理委員会全体

2022年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	「作業療法士の職業倫理指針」の見直し	◎ 委員会における見直し作業は最終段階。最終確認後、三役会・理事会に上程予定。承認されれば、会員に通知。今年度中作業終了を目指す。	遂行中
2	会員処分の標準例・処分量定一覧の見直し	◎	達成
3	協会員＝士会員の推進への対応方法を整備	○ 倫理委員会としての課題については2001年9月に会長に提出済。移行状況を確認しつつ、必要に応じ、確認作業を行う	遂行中
4	倫理委員会の運営方法の見直し	◎ 2か月に1回の定期倫理委員会の開催。必要に応じ、倫理審査会を開催。既存を継続予定。	達成
5	都道府県作業療法士会との連携・協力体制の推進	○ 個別案件の処理や助言等に関しては連携・協力が得られている。周知・啓発や初期対応体制の整備に関する連携は、未着手の状態である。	遂行中

振り返り(自由記載)

着実に倫理委員会の体制が整備されつつある。4士会より倫理研修の講師依頼があったことは嬉しいことであった。

2023年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	「作業療法士の職業倫理指針」の見直し	◎ 2023年7月末を目途に内容見直しを完了させ、理事会に上程する
2	会員処分の標準例・処分量定一覧の見直し	◎ 見直しの結果を検証する必要がある
3	協会員＝士会員の推進への対応方法を整備	○ 協会員＝士会員が具体的に動き始めている。倫理委員会が提出してある課題について適時確認をしていきたい。
4	都道府県作業療法士会との連携・協力体制の推進	○ 士会に倫理委員会の設置、倫理担当者の配置について具体的に提案して行くことを検討する

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

①士会に倫理委員会、倫理担当者配置を推進(再掲)。②士会における初期対応体制整備に関する研修会の開催。③周知啓発の推進(職場リーダー向け研修会の開催)。

周知・啓発係

2022年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	現状の教育・体制・周知方法の確認 ②OT協会員(白書データの活用分析)	○ 養成施設に対する倫理アンケート結果をHPにて公表 OT白書データは、反映できていない	遂行中
2	養成施設、士会、OT協会員向けに体制整備に向けたモデル作成・提示 ①OT養成施設における倫理事案の体制整備、周知啓発(对学生、対教員)	◎ 倫理アンケート結果を公表し、倫理事案対応窓口、委員会の整備などが立ち遅れている養成校が一定数あることを示した しかし、モデル作成・提示には至ってない	遂行中
3	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ②3つ目の「倫理事例集」作成	○ 「倫理事例集」作成に向け、過去に倫理委員会が把握している情報を検討した。 結果、新しい事例集作成には不十分と判断し、新しい情報収集方法を検討 検討結果、計画は以下の通り 1)臨床実習指導者講習会における倫理事案情報の活用のため、教育部に依頼済み(2023年度開催の講習会データを活用予定)	遂行中
その他			

振り返り(自由記載)

2023年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ②3つ目の「倫理事例集」作成	◎ 1)臨床実習指導者講習会における2023年度倫理事案情報が「倫理事例集」に活用可能かを検討予定 その検討を踏まえ、さらなる情報収集の要否を検討する 考えられる方法は以下の通り (1)全養成校に再度アンケート実施 ★前回アンケート結果からして、再実施の有効性は低い (2)縁故方式による情報収集 (3)その他
2	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ③倫理事案教育を卒前教育、卒後教育に導入	○ 「倫理事例集」を作成し、卒前教育、卒後研修への活用を教育部に提案する ★「倫理事例集」の作成が前提であるが、倫理事案情報の収集が進まない場合は、他の方法を検討する ★例えば、ヒヤリハットや倫理事案全会員から継続的に収集する仕組みの構築が必要かもしれない

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

体制整備係

2022年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ①職場における倫理対応体制整備の現状把握とモデル的試行	◎ 職場の倫理対応体制の現状把握として作業療法白書2021を参考とした。モデル的試行については着手できていない。	遂行中
2	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ②職場リーダー研修の教材作成	◎ 職場における倫理対応体制の整備のための資料(案)の見直しを行い、SNSの対応について追記した。太田委員長作成の研修会参考とした。	遂行中
3	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 教育部に対応依頼(「士会員の倫理向上に向けた取り組み」の協力)	◎ (「職業倫理指針」が現職者研修等の協会・士会でいう倫理研修の参考資料とされと考えている)	遂行中
4	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ①士会における倫理対応体制の整備に資する参考資料作成	◎ 太田委員長作成の研修会資料、47都道府県委員会での説明資料を参考とした。	遂行中
5	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ②OT協会の倫理委員会の各種規程や各係の設置、事務処理フローと関係書類様式を参考にできる環境の整備	◎ 協会ホームページ上に掲載済み。47都道府県委員会での説明を行った。	達成

振り返り(自由記載)

都道府県士会からの要望を受けて太田委員長が倫理に関する講義を行った際の感触から、都道府県士会での倫理に関する関心とニーズの高まりを感じるのとことであった。また、47都道府県委員会でも、度々倫理問題に対する対応フローなどの説明を行っていたことで、協会の取り組みを参考にしたいという要望も高まっていると感じる。このような現状に対応し、研修会の開催を早めるしていきたいと考えている。

2023年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ②職場リーダー研修の教材作成	◎ 職場リーダー向けもしくは都道府県士会向けに倫理対応に関する研修会をオンラインにて開催する。
2	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ①士会における倫理対応体制の整備に資する参考資料作成	◎ (同上)
3	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ②OT協会の倫理委員会の各種規程や各係の設置、事務処理フローと関係書類様式を参考にできる環境の整備	◎ 都道府県作業療法士会からの問い合わせに対応する
4	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ①職場における倫理対応体制整備の現状把握とモデル提示	○ 職場リーダー向け研修に参加された施設で、モデル的試行を実践されているケースを会員に紹介

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

広報係

2022年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	会員への情報提供 ①倫理委員会内情報の提供	◎ 令和5年1月に協会ホームページ内の倫理委員会ページの大幅なりニューアルを実施	達成
2	会員への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ 令和5年1月に協会ホームページ内の倫理委員会ページの大幅なりニューアルを実施	達成
3	士会への情報提供 ①倫理委員会内情報(事務処理方法、関係書類など)の提供	◎ 倫理事案の受付段階における処理・対応について47委員会での説明後ホームページに掲載	遂行中
4	士会への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	◎ 令和5年1月に協会ホームページ内の倫理委員会ページの大幅なりニューアルを実施	達成
5	士会への情報提供 ③倫理問題履歴(倫理事例集、倫理対応事例集など)の提供	○ 倫理事例集の作成方法についての素案を提出	遂行中
6	社会への情報提供 協会の倫理対応体制の紹介	◎ 一般向け協会ホームページでの倫理に関する記事等の掲載	未着手

振り返り(自由記載)

今年度は倫理委員会のホームページの大幅な刷新を図った。以前の倫理審査手続きのガイドや倫理規定の掲載だけでなく、倫理問題全体に関わる情報ポータル的な意味合いを持たせたボリュームのあるページとなった。まだ作成中のコンテンツもあるが、各係と連携して、随時更新を図っていく必要がある。
倫理事例集については素案の提案を行ったが、その後の進捗については不十分な部分があり、改めて教育的コンテンツとしての事例集と、各士会における倫理対応のガイドライン的事例集についてその表現方法やフォーマットについての検討が必要。

2023年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	会員への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ 倫理委員会ページのコンテンツの拡充と更新を継続 特記すべき内容については機関誌等でも記事を掲載する
2	士会への情報提供 ①倫理委員会内情報(事務処理方法、関係書類など)の提供	○ 職業倫理指針の更新版をホームページに掲載
3	士会への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ ホームページで紹介している内容の更新を随時行い、特記すべきニュースがあった場合にはニュースプラグインで告知する
4	士会への情報提供 ③倫理問題履歴(倫理事例集、倫理対応事例集など)の提供	◎ 倫理事案の事例集について各係と連携してホームページ等での掲載準備を進めていく

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

昨年度はホームページの大幅な刷新を行ったが、今年度は更新されたホームページの運用をおこない、随時、コンテンツの拡充及び更新を行っていく。その際に更新のお知らせをニュースプラグインからSNS連携でTwitterやFacebookに告知し、会員等の関心を誘導していく。特記すべき内容については機関誌などの媒体も活用して周知を図る。
ホームページの閲覧動向については定例会議で報告し、定点観測を続けながら新規の更新があった場合の動向についてもチェックしていく。
倫理事例集については昨年度に引き続き、各係と連携しながら具体的なフォーマットを検討し、次年度以降の公表に向けて準備を進めていく。

倫理問題対応係

2022年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	倫理委員会内整備 ①各種基準設定、事務処理フロー図・関係書類の作成	◎ 関係書類を作成。運用中。	達成
2	倫理委員会内整備 ②現行基準等の見直し 標準例・処分量定の判断基準(目安)の作成	○ 未着手	未着手
3	倫理相談 ①相談対応 対応方法の説明書の作成	○ 作成。47委員会で説明。協会HPIに掲載。	達成
4	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 受理案件以外の相談ケースを4か月ごとに提供	○ 履歴の蓄積は達成。倫理委員会委員への提供は達成。士会への提供については未着手。	遂行中
5	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 士会への提供(1回/年)	○ 履歴の蓄積は達成。士会への提供については未着手。	遂行中

振り返り(自由記載)

2023年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	倫理委員会内整備 ②現行基準等の見直し 標準例・処分量定の判断基準(目安)の作成	◎ 今年度中に作成
2	倫理相談 ①相談対応 対応方法の説明書の作成	◎ 事例の蓄積と見直し
3	倫理審査 ①倫理問題事案対応(受理、事実確認、処分等審査) 対応方法の説明書の作成	○ 処理事例集の作成に向け検討
4	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 受理案件以外の相談ケースを4か月ごとに提供	○ 士会への情報提供方法について結論
5	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 士会への提供(1回/年)	○ 士会への情報提供方法について結論

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

士会で倫理担当者が設置れることも増えるため、「よんぱち」での報告時に、それら担当者のオブザーバー出席を促す。

2023年度の評価と2024年度の取り組み・目標

倫理委員会全体

2023年度	内容		具体的な遂行状況	評価
1	「作業療法士の職業倫理指針」の見直し	◎	倫理委員会で作成した改定案が理事会で承認された。会員への周知も行った。	達成
2	会員処分の標準例・処分量定一覧の見直し	◎	見直し終了	達成
3	協会員＝士会員の推進への対応方法を整備	○	担当委員会へ提言済	達成
4	都道府県作業療法士会との連携・協力体制の推進	○	事案ごとに連携・協力をとっている士会からの相談にも都度対応した	遂行中

振り返り(自由記載)

計画外として、
①「事例集の改訂」、②「ハラスメント防止宣言(案)の作成・上程」を行った。

2024年度	内容		具体的な取り組み・目標
1	ハラスメント防止宣言の決定と周知	◎	理事会審議結果待ち 決定後、周知方法について関係者と協議する
2	協会におけるハラスメント防止対策の体制整備(支援)	○	協会事務局より協力依頼があった場合対応する

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

課題①士会における倫理対応体制の未整備
課題②職場における倫理対応体制の未整備
課題③臨床実習指導におけるハラスメント事案の継続発生
課題④デジタル社会特有の倫理問題の発生

周知・啓発係

2023年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ②3つ目の「倫理事例集」作成	◎ 総論、各論からなる事例集を作成中 各論部分には、各種の教育におけるハラスメント事例を創作中	遂行中
2	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ③倫理事案教育を卒前教育、卒後教育に導入	○ 「倫理事例集」作成後に、卒前教育、卒後研修への活用を教育部に提案する予定	未着手

振り返り(自由記載)

2024年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ①倫理事案データベース作成	○ 具体的倫理事案の具体的な内容を公表することには問題があるならば、そのテーマと件数、対応と結果の概要だけでも公表できるような仕組みを検討する
2	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ②3つ目の「倫理事例集」作成	◎ 総論、各論からなる3つ目の「倫理事例集」の完成を目指す
3	倫理に関する教育内容と教育体制の整備 ③倫理事案教育を卒前教育、卒後教育に導入	◎ 「倫理事例集」作成後に、卒前教育、卒後研修への活用を教育部に提案する

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

1) 養成校教員を対象とした研修会企画・開催 (講師候補: 神奈川県立保健福祉大学 津野佳奈美氏)

2) 学生に対する実習終了後のハラスメントアンケート(定期的なアンケート実施)計画

3) 養成校における倫理事案(教職員間、教職員と学生の間、学生と他組織の者との間に生じる事案)防止のためのパンフレット作成

体制整備係

2023年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ②職場リーダー研修の教材作成	◎ 1/27に職場リーダー向け研修会を実施した。ハラスメントの対応に関する研修とした。47名の参加。	達成
2	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ①士会における倫理対応体制の整備に資する参考資料作成	◎ 士会むけ研修会プログラム案をよんばち会議に提示し、意見を聴取した。	遂行中
3	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ②OT協会の倫理委員会の各種規程や各係の設置、事務処理フローと関係書類様式を参考にできる環境の整備	◎ ホームページに掲載していただいている。	達成
4	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ③士会倫理担当者研修の実施	○ 士会むけ研修会プログラム案をよんばち会議に提示し、意見を聴取した。	未着手

振り返り(自由記載)

職場リーダー向け研修の参加者の満足度は高かったが、特にディスカッションの時間を長くしてほしいとの要望が多く寄せられた。「Q&A」では、多数の質問が寄せられ、回答案を作成中である。提示方法が課題となった。

2024年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ③職場リーダー研修の実施	◎ 研修プログラムを再検討し、開催予定とする。開催時期は秋ごろ。
2	会員が勤務する職場における倫理対応体制の整備に向けた情報提供 ④実施圏域ごとの情報交換会	○ 検討を開始する
3	都道府県作業療法士会における倫理対応整備に向けた協力 ③士会倫理担当者研修の実施	◎ 研修プログラムを再検討し、開催したい。時期は1月ごろ。

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

2023年度研修会で実施した「Q&A」は、会員のニーズ(倫理課題)を知る機会となったが、回答作成に苦労している。方法等を検討したい。県士会窓口(士会によっては倫理委員会担当)のあり方の検討が必要と考えている。明確になれば、都道府県士会に提案し意見を伺いたい。

広報係

2023年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	会員への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ 職業倫理指針の改訂を機関誌及びホームページにて広報	達成
2	士会への情報提供 ①倫理委員会内情報(事務処理方法、関係書類など)の提供	○ 「作業療法士の倫理に係る事例集」の改訂をホームページにて広報	達成
3	士会への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ 改正著作権法の制定・施行についてホームページに掲載	達成
4	士会への情報提供 ③倫理問題履歴(倫理事例集、倫理対応事例集など)の提供	◎ 倫理情報1:最近の倫理問題事案～注意・啓発～をホームページに掲載	達成

振り返り(自由記載)

ホームページだけでなく機関誌への掲載を行うことで広く会員への広報を行うことができた。
タイムリーな情報提供の為にホームページと資料として残すことができる機関誌の特性をうまく活用した広報手段の検討が必要。

2024年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	会員への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ ホームページデザインの変更に備えて、倫理委員会としての意見を検討
2	士会への情報提供 ①倫理委員会内情報(事務処理方法、関係書類など)の提供	○ 各士会倫理委員会を運営するための書類や情報等の提供を体制整備係と連携して行っていく
3	士会への情報提供 ②国等の動向に関する情報の提供	○ 随時ホームページにて情報提供を行う
4	士会への情報提供 ③倫理問題履歴(倫理事例集、倫理対応事例集など)の提供	○ 周知啓発係と連携しながらホームページや機関誌で事例集等の広報を行っていく

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

より今まで以上に会員に倫理関連の情報が提供できるようにホームページのリニューアルを見据えながら、倫理委員会としても意見が出せるように準備を進めていく必要がある。
また、よりタイムリーという点ではSNSについてもその活用のメリットとデメリットを評価し、危険性を含めた広報活動を行っていくことを検討していく。

倫理問題対応係

2023年度	内容	具体的な遂行状況	評価
1	倫理委員会内整備 ②現行基準等の見直し 標準例・処分量定の判断基準(目安)の作成	◎ 全くの未着手	未着手
2	倫理相談 ①相談対応 対応方法の説明書の作成	◎ 士会、会員外、学生本人や親、利用者等から多岐にわたる相談があった。全て対応・処理した。	達成
3	倫理審査 ①倫理問題事案対応(受理、事実確認、処分等審査) 対応方法の説明書の作成	○ 令和5年度は1件の倫理審査であった。滞りなく処理した。	達成
4	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 受理案件以外の相談ケースを4か月ごとに提供	○ 相談や事案等から「倫理情報1:最近の倫理問題事案～注意・啓発～」を作成し、48委員会での説明やHPへの掲載等によって、会員へ周知した	達成
5	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 士会への提供(1回/年)	○ 該当する士会へ情報提供を行った	達成

振り返り(自由記載)

倫理審査会で、処分量定について審議・判断する際に参考になる「(仮)処分量定判断参考資料」を作成することの必要性も含め再度検討(協議)する必要がある。

2024年度	内容	具体的な取り組み・目標
1	倫理相談 ②相談対応事例集(案)の作成	◎ 過去の報告・相談事例を集積し、相談対応事例集(素案)を作成
2	倫理審査 ①倫理問題事案対応(受理、事実確認、処分等審査) 対応方法の説明書の作成	◎ たたき台の作成
3	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 受理案件以外の相談ケースを4か月ごとに提供	◎ 倫理情報2を作成・提供する
4	倫理審査 ②履歴の蓄積と定期的情報提供 士会への提供(1回/年)	○ 倫理情報2に含める方向で検討する

上記以外の取り組み・懸念事項等(自由記載)

特になし